

健康登山23: 自然歩道11 (和東原山～三ヶ岳～童仙房～クノスケ～月ヶ瀬口駅)

コース	原山バス停→4.5km/111' →三ヶ岳南の峠→0.7km/12' →登山口分岐→0.5km/20' →三ヶ岳→2.1km/38' →ないおん寺→4.0km/59' →六所神社→0.9km/14' →弁天池→1.2km/25' →クノスケ→6.9km/96' →押原→4.2km/69' →月ヶ瀬口駅		
水平距離	25.0km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
水平換算距離	22.1km		
累計高低差	登り1071m、下り1108m		
標準歩行時間	7:22		
実績歩行時間	7:09		



山行報告

山行日 2007・4・5 (木) 天候 晴 参加者 5名

行動 JR木津駅8:35⇒原山バス停9:14⇒三ヶ岳南の峠10:46⇒登山口分岐11:07⇒三ヶ岳11:24⇒ないおん寺12:05～37⇒六所神社13:32⇒弁天池13:53⇒クノスケ14:12⇒弁天池14:42⇒押原16:07⇒月ヶ瀬口駅17:23⇒京都駅19:31

記録

童仙房、そこは時間がゆっくりと流れる別世界のようだった。この日は季節の割には気温と湿度が低く、鶯の鳴き声を聞きながら快適な高原歩きができた。

JR木津駅から奈良交通バスに乗り、前回の下山口である和東原山バス停で下車、ここが東海自然歩道 童仙房コースのスタート地点である。標高は150m、ここから茶畑の中を300mほど登ると鷲峰山など北の山々が見える開けたところに出る。鷲峰山や電波塔のある釈迦岳などを眺めながら小休止、さらに40分歩いて三ヶ岳南の峠に着いた。踏み跡があるので登ってみたが最初のピークから引き返した。林道を少し歩き、二番の茶畑脇にある登山口標識から標高618mの三ヶ岳に登り、下山は三番の茶畑を歩いて林道に戻った。

民宿童仙房山荘前を通り、泥洹寺(ないおん寺)前の東屋で昼食をした。

午後は車道歩きだが、標高が500m程あるので涼しく、季節を選べばよいハイキングコースである。50分で野殿の交差点に着き、左折して六所神社にお参りをした。

その後、交差点に戻り、少し南下して弁天池から林道に入り、茶畑まで進んで山道を辿ると二等三角点のあるクノスケに着いた。北方が開けていて正面に比叡山が見えた。

弁天池まで戻り、野殿から押原までは高度差400m、6kmのつづら折れの下り道となる。途中で南側が開けた展望のよいところがあり、東から尼ヶ岳、大洞山、俱留尊山、三峰山と続く山並みが見える。さらに下るとやがてR163の押原に着く。押原からR163を歩けば2.1kmだが交通量が多く歩道がないため危険である。東海自然歩道はR163の南を走るJR関西本線沿いに設けられている。こちらは4.2kmと長いが静かな田園風景を眺めながら歩ける。

自然歩道 (原山~三ヶ岳~童仙房~クノスケ~月ヶ瀬口駅)



和束の茶畑
9:45



三ヶ岳にて
11:34



童仙房の茶畑
11:45



童仙房二番の
農家と作業所
11:48



ないおん寺と
東屋
12:36



六所神社
13:36



クノスケから
比叡山
14:18



弁天池
14:42



野殿から尼ヶ岳
15:29



月ヶ瀬口駅へ
16:53

名所・旧跡ミニガイド（自然歩道：和東原山～童仙房～月ヶ瀬口）

参考資料、童仙房百年の歴史／他より

◎ 童仙房：関西の軽井沢とも呼ばれている。東西8[㍓]、南北6[㍓]、標高500[㍓]前後の高原状の盆地。気温は平地より5～6度低い。夏期の木陰は涼しく、冬期は霜柱が6～10[㍓]上る、降雪は30[㍓]に及ぶこともある。

特産品は：童仙房茶、大河原トマト(抑制栽培)、椎茸(府第一位生産量)

古くは、古文書に堂千房、堂千坊、土千坊、童千坊、傍千坊、道宣坊、等様々の表現であった。明治維新後に『童仙房』の字が当てられた。

奈良時代始め、元興寺落慶の折、山城の国、国井(井出)の住人が、恵智上人より仏法伝授を受け大伽藍建立を志し、その地を尋ねて諸所巡遊する。大河原に来た時、紫雲棚引き十六歳頃の童子の御告げで、この地に大伽藍を営む堂千坊を設けた故、土千房と呼ぶ。(童仙房開拓大河原の里由来記より)

童仙房の西南は籐堂藩に、東南は柳生藩に、東北は甲賀に、西と北は御領地にそれぞれに接し、何れの領地にも属さず、野殿、笠置、湯船の三郷の争いもあり、緩衝地帯として雑木繁茂し荒地となり白地図であった。小学校の裏あたりは、三つの郷が寄って話し合ったことから三郷田と呼ぶ。

明治になって京都府庁は、この地を開墾して土族救済転住の計画で大蔵省に申し出て許可を得る。その土族は十分な家禄(退職金)を賜う規則となり、土族転住は取り止めとなる、そこで一般有志の転住者を募り、食、農具を与え、農事指導をして、耕地、山林はほとんど転徙者に分け与えた。

明治2年開拓着手162名入植する。土地感のある和東からの移住者が多く、良い所をとったが、他所の人は何処でも得心して入ってきたという。

京都府の開拓で、京都に近い所から一番、二番…九番と地名を付けた、また川の流れに関係なく京都に近い方を上、遠い方を下と呼び、川上に住んでいるのに[下の人]と呼ばれたそう。

人口500人、京都府支庁、郵便局、警察署、も出来たほどだったが、木津に支庁が移転したことで発展はしなくなった。

初代知事は長谷信篤、権知事は榎村正直(後ちの二代目知事)であった。

◎ 童仙房焼：童仙房開拓当初より陶工清水亀山が京都より来住、陶器が焼かれた。

京都府の府庁を始め、すべての官公衛の所要器物一切を下命納入していた。良質の粘埴土を豊富に産し、家具、茶器の形状色彩等精巧を極めていて、当時の**イタリヤ万国博**(明治10年)に出品され好評を得た。

山間地域のため、地方の交通運搬が利便になるにつれ衰退した。

又茶道具等の道具としての焼き物でなく、実生活用品が主であったことも要因の一つと考えられる。

- ◎ 總神寺 : 昭和26年天理市妙幸寺の梶田誉上人が、鬼門方向にある瀧を**修行の場**として法門の伝道に入り昭和41年本堂を建立。(修行した瀧は**稚児の瀧**とか)
- ◎ 稚児の瀧 : **御醍醐天皇**が笠置山で幕府軍に敗れ、北東の童仙房へ逃げ込んだ、そのあと和束から犬打峠を越えて井出町で捕まるが、**童仙房**へは、幼い皇女さまを乳母が抱えながら逃げたが、逃げ切れなくなって、皇女さまを瀧へ投げ(**稚児の瀧**)、自分も同じ瀧では恐れ多いと別の瀧に身を投げたという。この瀧は**乳母の瀧**という。悲しい話です(両瀧は東海自然歩道、童仙房近辺にある)
- ◎ 郷社 大神宮 : 祭神は天照大御神、大物主神、大山祇神。
明治4年京都府初代知事、長谷信篤が勧請。
童仙房開拓百年を記念して、開拓碑が大神宮への登り口にある
- ◎ ないおん寺(泥洹寺) : 本願寺派の説教所として童仙房に置かれた、開拓当時は小学校としてひと時使用された。明治11年京都下京区にあった、ないおん寺の本籍を移転させて寺とした。現本堂は大正7年の建立。(南山城HPより)
- ◎ 童仙房山荘 : 民宿、昭和56年開業、主人は初代入植から五代目、現在は奥様が代表者。
- ◎ ^{のどの}野殿集落 : 江戸時代柳生藩の家臣(江戸詰家老)で野殿という人の名が地名。
信楽焼きは、甲賀多羅尾から、この村を経て、大河原へ運ばれ木津川を下って都に運ばれたという。また伊賀街道の宿場町の一つでもあった。
- ◎ 六所神社 : 起源は平安時代初期。一間社春日造りで江戸中期の創建。府重要文化財。
京都の自然200選(歴史的な自然環境部門)に指定されている
祭神 : 天照大神、天兒屋根命、^{おうじんてんのう}誉田別尊、伊邪那美尊、^{しらやまひめのみこと}白山比咩尊、一言主尊
※南山城HPの祭神 : 早良子、伴与親王、藤原夫人、刈田光(丸)、橘花逸、火雷神

延暦(平安)時代初め藤原是公^{これきみ}卿岩岸照門刑部太郎がたびたび土千房に行ったおり、女と知り合い一男を設け太郎照元と言い、土千房^{これきみ}検非違使とした。嵯峨天皇弘仁元年(810)早良太子(崇導天皇)の靈鬼^{これきみ}が、是公卿連枝(繫がりある親族)太郎照元が住むのを憎み村内に祟りあるので、村の氏神として早良子ほか前記全六神を齋祀る。検非違使(警察、裁判)庁下部^{ちよのしもべほうべん}放免に不法な横暴少なからず有り承和十年(844)村民集合して、刑部太郎の子孫が住むのを^{にく}悪み、土千房へ火を放ち大伽藍、坊舎を焼き払う。尚千体佛は野殿福常寺に現存。(百年の歴史より)

- ◎ 福常寺 : 千体佛を本尊とするが、柳生藩から寄付されたものらしい(百年の歴史より) 境内のヒノキは京都の自然 200 選(植物部門)になっている。

※六所神社について(私見)

童仙房史から、六所神社に祀られているのは、政治的に非業の死を遂げた人達を祀り御霊神を鎮める為に祭った神社と思う。

- 1 早良子 …早良親王^{さわら}/崇道天皇(追号)桓武帝の弟；暗殺連座で廢太子され抗議の絶食憤死。
- 2 伴与親王?…伊予^{いよ}(豫)親王(追贈一品)^{いっぽん}…伴与?親王は桓武天皇の第三皇子の伊予親王と推理、母は藤原吉子。謀反罪で母と大和川原寺に幽閉され、親王位を剥奪された翌日、母と毒薬自殺した。(一品^{いっぽん}は親王位階の第一位)
- 3 藤原夫人…藤原吉子^{ふじはらのよしこ}/大夫人^{だいにん}(追号)【父は藤原是公^{これきみ}】子の伊予親王と共に捕らえられ毒を煽って自殺する。母子は毒殺された? 安殿親王(平城天皇)が立太子。
- 4 刈田光(丸)?…文室宮田麻呂^{ぶんやのみやたまろ}「宮田丸」…刈田丸は陸奥鎮守将軍で坂上田村麻呂の父親御霊神として祭られるのは不自然。宮田丸(磨)は新羅人と反乱を企てたとして伊豆へ配流され配所で死亡した。(祭名は文大夫^{ぶんのだいふ})
- 5 橘花逸 …橘逸勢^{たちばなのはやなり}(橘大夫^{たちばなのだいてふ})… 空海、嵯峨天皇と共に三筆といわれる、824 嵯峨上皇が重態に陥った時、淳和の子恒貞親王の皇太子擁立に絡んで共謀容疑で伊豆配流の途中拷問が元で病死。道康親王(文徳天皇)立太子。
- 6 火雷神 …菅原道真(衆知)…「火雷神」他に奈良御霊神社(靈安寺御霊大明神略縁起)に井上内親王^{いのかみ}(聖武天皇娘、伊勢斎王、光仁天皇皇后、他部親王^{おきべ}の母)が呪詛の罪で廢皇后、親王も廢皇太子、五条の宇智に幽閉中雷神(若宮)を産むとある。775 年 4 月 27 日他部親王と時を同じくして死ぬが暗殺説濃厚、若宮は雷神と化し報復? 山部親王(桓武天皇)立太子。